

木の力を活かし、毎日子ども達が 安心して過ごせる環境を・・・

学校法人 旭川報恩学園 みどり幼稚園 園長 小山 英明
URL [http:// http://midori-kindergarten.jp/](http://http://midori-kindergarten.jp/)



■幼稚園の設立・理念

みどり幼稚園は、今年で60年を迎えます。昭和32年に私の祖父、報恩寺第3世住職小山英真上人が寺子屋として近所の子どもたちにお寺を開放したのが、幼稚園設立のきっかけと聞いています。



玄関の表札です！

仏教の教え「つよく・あかるく・なかよく」をモットーに、40年を迎えたことを期に、それまでの保育を見直し、子どもの主体性・社会性を育てるために、子どもをとりまくすべての環境を大切にしたい保育の実践に努めております。



みどり幼稚園の全景

平成12年に園舎を建てかえ、現在に至っております。子どもの生活＝あそびととらえ、「毎日過ごす幼稚園は家庭の延長であり、子どもにとっても大人にとっても心地よい素敵な空間でありたい。」との思いから、当初は「大きなログハウス」を作りたいと思いましたが、予算の関係上、残念ながらログハウスは作れませんでした。木造の園舎を建てることができました。

子どもたちに与える環境は、子どもだましではなく、「本物」を提供したいと思っています。園舎の環境も子どもたちが手に触れる部分は壁も床もすべてが「木」です。毎日子どもたちを出迎える玄関には、やさしく力強い、壁画を「松井エイコ」氏にお願いして作成して頂きました。

子ども達との信頼関係を十分に築き、教育環境を創造するように努めています。子どもたちは安定した情緒の下で、自分自身を発揮することが、発達に必要な体験を得ていくものと考えております。子どもの主体的な活動を促し、幼児期にふさわしい生活が展開されることを大切にしています。子どもが主体的に自立していくために発達心理学にあった木製の遊具や道具を指示し、主体的に遊べるような日課を保障しています。

平成27年4月1日より併設する報恩寺において放課後児童クラブ「みどりクラブ」を開設。平成28年4月1日には幼稚園舎を増築し、小規模保育事業「さらな保育園」を開園し、毎日子どもたちの元気な声が響いています。



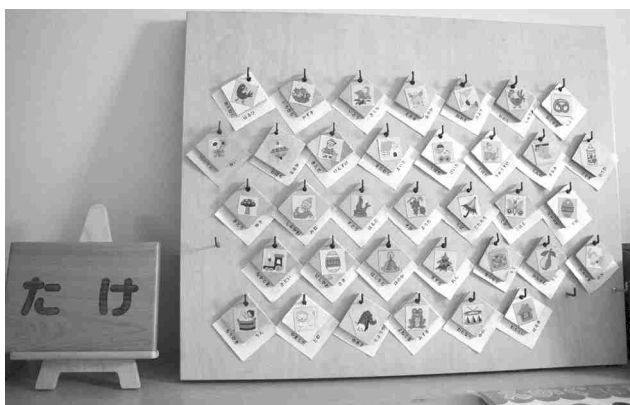
子どもたちのロッカーです！

自分のマークの付いた場所に自分でジャンパーをハンガーに掛けて、帽子やリュックを入れます。マークは、入園の時に子ども達が自分の気に入ったものを選びます。まだ字が読めない年少児も自分の

ロッカーや下駄箱など自分の場所や持ち物がわかりやすく、自分のことは自分ですということが、やり易くなります。



下駄箱です！



子どもたちのマークです！

ロッカーや下駄箱等様々なものに子どもたち一人ひとりのマークがつきます。マークは、動物や乗り物など様々です。卒園まで同じものを使うので、子どもたちにとってはとても大切なものになっています。

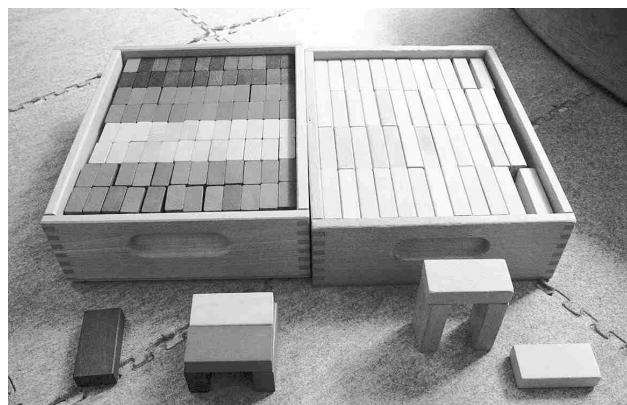
■なぜ木製のおもちゃ、遊具なのか

私は、おもちゃは自然の素材によって作られることが必要だと思っています。木や草や花、土や石等々・・・あらゆるものが素材となりうると思います。人間が自然の一部として生活をしていた時、身の回りにあるものを手にして遊んでいたと思います。そう考えると木のおもちゃはその代表選手だと思います。今はテレビゲームやテレビのアニメーションから作り出されたおもちゃが蔓延し、子どもが自分で動かしたり、想像したりといったことが出来にくいように思います。

木のおもちゃには、「自分で動かす」「想像する」ということで、遊びもどんどんと発展し、友達や先生方と協力して大きなものを作るということも、やりやすいと思います。また、木にはぬくもりがあり、自然と子ども達を包み込み、あたかも木がいっぱいある森の中で遊んでいるような錯覚すら覚え、安心して遊ぶことが出来ると思っています。

■おもちゃ、遊具の紹介

まず紹介するのは「積木」です。レンガ積木やカプラ積木、ネフ社のネフスピールやアングーラ、セラ等々・・・様々な積木があります。



レンガ積木です！（カラー・白木）



上手に積むと天井までとどきます！

椅子や机を使ってみんなで協力して、どんどん高く積み上げていきます！
年少児（3歳）でも机などを使い、こんなに高く積みあげちゃいます！



カプラ積木です！



アナと雪の女王のお城です！



キリン (右) とペンギン (左)



旭山動物園のペンギンの散歩だって
再現できちゃいます！

周りの子ども達はペンギンが前を歩く姿を、見ています。年中児（4歳）の作品です。

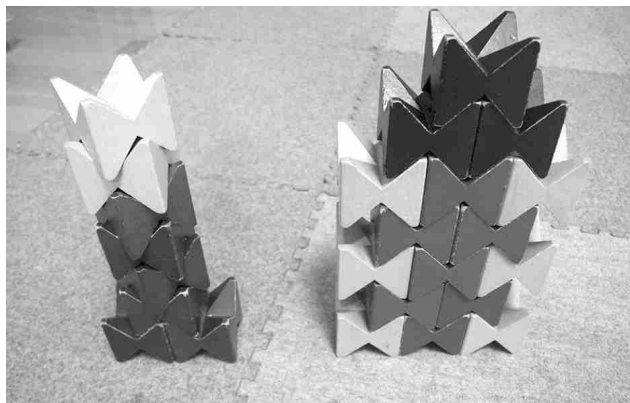
レンガ積木とカプラ積木を組み合わせて作りました。同じく年中児（4歳）の作品です。

積木は、子どもからの働きかけが無いと成立しません。実際に手で積むことで形が生まれます。そして子どもたちの想像の世界が形となって現れます。また、大きな作品を作る時には一人ではできません。友達との協力がなくては完成させることはできません。友達とどのように作るかを相談したり、イメージを共有したりして、作成します。そして物事を成し遂げた時の達成感は何よりも子どもたちの大きな自信となり。信頼関係も生まれます。

積木は「基尺」が合っていることが重要になります。レンガ積木は、幅=6.6cm、奥行き=3.3cm、高さ=1.65cm 辺の長さの比率は4：2：1になっています。

カプラ積木は、幅=12cm、奥行き=2.4cm、高さ0.8cm 辺の長さの比率は15：3：1になっています。

基尺が合っていないと高さがあうことがなく、不安定になってしまい、崩れてしまいます。基尺があっていれば、縦横を別々に組み合わせながら無造作に積み上げても、高さは同じになりますので、積木で立体的な構造物を正確に作る事ができ、また、高く積んでいくこともできます。そして、子どもたちは積木で遊ぶことで、知らず知らずのうちに長さを意識することとなります。

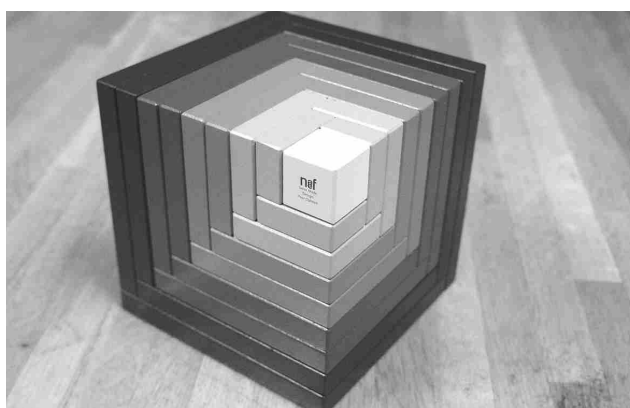


ネフスピール！



ピリボ！

赤・青・黄色・緑の色が付いた積木です。形が少し変わって（星のような形）います。子どもたちの発想で様々なものに変身します。



アングーラ！



「ネフスピール」や「ピリボ」「アングーラ」といった積木は積み方によってまったく違う形のもが出来上がります！時には、私たち大人が気付かないようなものが出来上がることも・・・。

子どもたちのイメージの世界がどんどんと広がって行きます。

園庭の遊具もほとんどが木製の遊具です。



汽車です！

子どもたちは運転手になったり、後ろの客車にお客さんとなって乗ったりして遊びます。



すべり台が付いた総合遊具です！

すべり台の一部がステンレス製ですが、あとは木製です。



ブランコです！

ブランコも一部、ステンレス製のパイプとチェーンが使われていますが、その他は木製で、柵もあえてラティスを利用しています。



ベンチも木製です！

かなり重たいですが、冬期間は雪が当たらないように移動しています。



砂場の枠も木製です！

どうしても木が朽ちてしまったりしますので、何年か後には入れ替えなければなりません。木の持つあたたかみを考えると他の素材を選択することは考えられません。



スプリングが付いた木の遊具です！

乳児から幼児までとっても人気があります。

園内の遊具も木製の遊具をたくさん取り入れています。

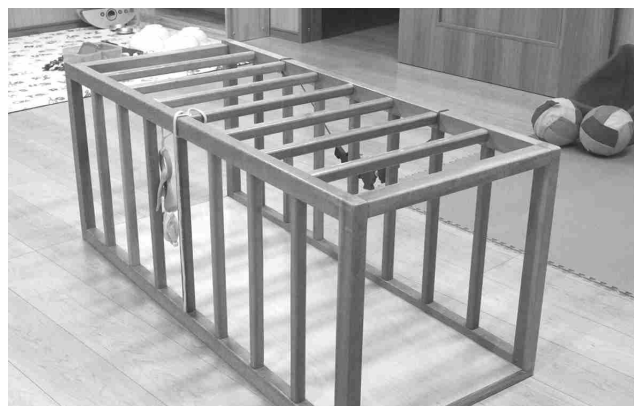


すべり台です！



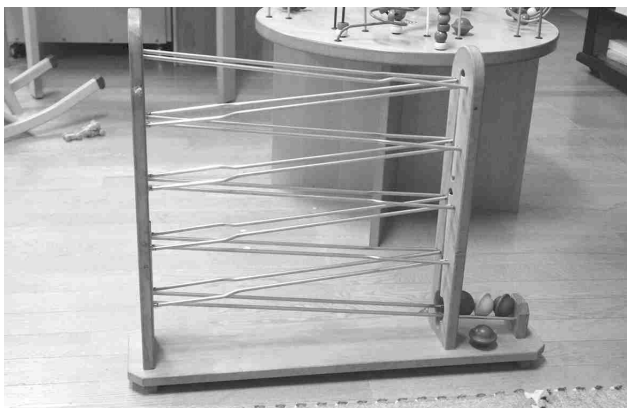
木の砂場です！

木の玉がたくさん入っています。子どもたちは砂場のようにスコップやバケツを持ち込んで遊んでいます。



木のトンネルです！

子どもたちはハイハイでトンネルをくぐります。ハイハイをたくさんして肩や腕の筋肉を育てます。



スロープに球を転がして遊びます！

子どもたちは、何回も何回も繰り返し、遊んでいます。



木馬です！

木工が趣味の方の手づくりで、寄贈して頂きました。



キッチンです！

おままごとごっこをして遊びます。



お部屋の様子です！

キッチンとテーブルでお店屋さんごっこが展開されます。レストランやラーメン屋さん、アイス屋さん、お寿司屋さん等々、さまざまな遊びが広がります。



電子レンジ



ドレッサー



包丁とまな板も木製です！

子どもたちは家庭でのお母さんやお父さんの様子を模倣して遊びます。年齢が上がる時、役割分担や役交代ができるようになり、大人数でコミュニケーションが取れるようになります。



幼稚園での生活は、家庭の延長と考えています。子どもにとっても大人にとっても、居心地の良い環境を整えるように考えています。毎日子どもたちが過ごす園の保育室やホールは子どもだましではなく本物を与えるように心がけています。ただ単に、ウサギやクマのかわいらしい絵や作り物を壁に貼るのではなく自然物や絵本等々を使用して園内を装飾しています。

■さらな保育園

平成28年4月1日より、小規模保育事業「さらな保育園」を開設致しました。

認可の定員は19名で、0歳～2歳までの子どもたちを預かります。園舎は木造で新築しました。子どもたちが触れる床や壁にはすべて「木」を使用し、木の持つあたたかさ、ぬくもりを感じて、育ててほしいと思っています。



玄関の表札です！

乳児期だからこそ、本物にこだわりたいという気持ちで子どもたちと関わっています。みどり幼稚園以上に様々な事に気を付けています。



ロッカーです。

特注で作って頂きました。
子どもたちの着替えやタオル、おむつなどそれぞれ

親御さんが持ってきたものをロッカー入れます。



廊下の奥が2歳児クラスの部屋
手前が、0・1歳児のクラスです。



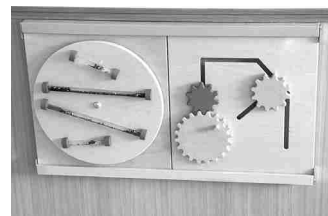
テーブルとイス



サークル



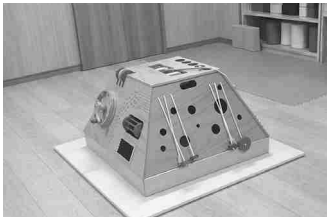
乳児用ベット



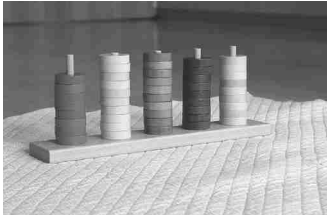
壁面の遊具



球を転がします



木製の総合遊具



プラステン



ドールハウス



カースロープ



NICスロープ



給食サンプル



ウッドデッキ

ウッドデッキは、お父様方の手作りです！



ウッドデッキでは日光浴をしたり、小さなプールを設置して水遊びをしたり、有効に活用しています。

■最後に・・・

子どもたちのために「本物を与えたい」との思いから環境を整えて行くと、自然と「木製」の遊具やおもちゃがほとんどになりました。

木製の遊具やおもちゃは高価で、しかも国産のものはほとんど無いのが現状で、海外から取り寄せているので運搬の費用もかかります。また、自園で使いやすい家具等を求めると、特注になってしまいます。木製遊具の素晴らしさは誰もが認めることではありますが、費用のことを考えると思うように導入することは難しいです。手作りするにも限界があり、良いものより安価で提供して頂ければうれしいです。

大人が子どもを動かす時代から、子どもが主体的に決めて遊ぶことの大切さを伝えたいと思い、そのために「大人の役目は一体何だろう」と考えた時、本物の環境を用意し、その中で関わる子どもたちのために、真正面から向き合い、素敵な発見の時には声に出して認めてあげて、まちがった時には、子ども自身に気づいてもらえるように援助していく。日々毎日の繰り返しの中で、子どもたちが良いこと悪いことの区別を自分で判断することができるようになってほしいと思っています。

子どもたちが、保育園（さらな保育園）から幼稚園（みどり幼稚園）、そして学童保育（みどりクラブ）へとつながり、やがて大人となって自立し、巣立っていく日まで、私たちは木の力を信じ、それを活かし、毎日子どもたちが安心して過ごせる環境を与え続けていきたいと思えます。